

コレクション展 2012-1 ビルディング 美術という建築

2012年3月16日(金)～6月24日(日)

「ビルディング」展は、美術と建築、建築と美術の関係を、当館のコレクションより60年代から現代までの美術の潮流を振り返り、アーティストたちの様々な試みからひもといていきます。

ビルディング (= 建築) と美術に通じ合う構築すること、創ること

多くのアーティストたちが、空間、素材、人を繋ぐ総合的な造形である建築に関心を寄せてきました。「私は常に建築に関心を抱いてきた」(「美術と建築」1987年)、ミニマル・アートの動向を代表する دونالد・ジャッドも著作の冒頭でこう記しています。60年代半ばから展開したミニマリズムは、工業的な資材をそのまま使い、資本主義社会の持つ物質性を具現化したものでした。単純化を突き詰めた形態、物質としてのボリューム、それを積み重ねていく構築性は、特定の場所と結びつき、空間と深い繋がりを築きました。また同時期に日本で展開したものは、未加工のものを素材そのままに用い、物質の存在と空間との関係性を探求していきました。

機能を備える建築と、むしろ想像力や概念に形を与える美術との違いを越えて、垂直方向へ伸びゆく都市を象徴するビルディング (= 建築) と、空間と関係性を築きながら展開する立体作品とのあいだには、構築することと創ることが結びつく共通性を有しています。

築き、創造する形と試みを、ヒロシマで着目する意義

本展では触発しあう美術と建築について、3つの柱から探求します。「彫刻という建築」ではミニマリズムやもの派などの試みから美術作品の建築的な構築性と空間に対する思索に目を向けます。「イマジナリー／アンビルドな建築世界」では絵画、版画、映像といったアーティストの想像力から生み出される虚構、自由に展開するイマジナリーな建築世界を、そして「都市への介入」では建築物の有機的な集合体である都市空間に介入し、ルーティンな日常に亀裂を入れ、既成概念を揺るがす社会的な視点を孕んだ作家の挑戦を紹介します。

昨年の大震災で圧倒的な自然の力は人々の日常とそれを営んできた街を容赦なく飲み込みました。大きな喪失から復興に向かったヒロシマで、本展は築き、創造する美術の形と試みに目を向けるものです。



ドナルド・ジャッド《無題》1968年



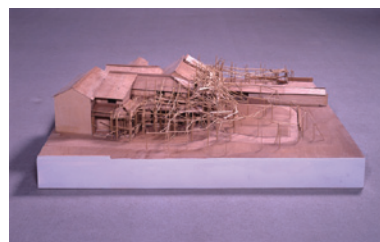
マーティン・クリード
《作品番号 1018》2009年
Photo: Nobutada Omote



金氏徹平《Tower (Movie)》2009年
©Tepei Kaneuji
Courtesy: ShugoArts

開催概要

- 【会期】 2012年3月16日(金)～6月24日(日)
- 【開館時間】 午前10時～午後5時
 ※3月27日(火)～4月5日(木) *休館日を除く、5月3日(木・祝)は午後7時まで開館
 ※入場は閉館30分前まで
- 【休館日】 月曜日(ただし祝休日に当たる場合開館し、翌平日休館)
- 【観覧料】 一般360(280)円、大学生270(210)円、高校生170(130)円
 ※()内は30人以上の団体料金
 ※小中学生と65歳以上は無料
 ※5月5日(こどもの日)は高校生以下無料



川俣正《“飛燕荘”京都1988》
1986-91年

出品作家

- 彫刻という建築：秋山礼巳、菅木志雄、堀内正和、湯原和夫、李禹煥、マーティン・クリード、 دونالد・ジャッド
- イマジナリー／アンビルドな建築世界：飯田善國、池田龍雄、井上武吉、金氏徹平、篠田守男、灰谷正夫、浜田知明、深沢幸雄、マルセル・デュシャン、ウーゴ・ムラス ほか
- 都市への介入：小沢剛、川俣正、杉本博司、横溝静、ゴードン・マツァークラーク、クリスト

関連プログラム

小沢剛「関係性の美学」再考／参加型アートを考える

1990年代に出現し脚光をあびた「参加型」「サイトスペシフィック(その場所独自)」な作品。その潮流を牽引してきたアーティスト、小沢剛をゲストに、参加型作品制作の動機、90年代の美術シーンの状況、さらに現在に至る美術を巡る変化、問題点などを対話形式でお話します。

講師／小沢剛(アーティスト) モデレータ／神谷幸江(広島市現代美術館学芸担当課長)

日時／2012年3月17日(土)14:00～15:30

※聴講無料、事前申し込み不要

オープン・ワークショップ「ブロックで家や街をつくらう！」

たくさんのブロックを思い思いに組み合わせて、自由に家や街をつくります。

日時／2012年3月18日(日)、20日(火・祝)10:00～17:00 ※開館中随時

対象／幼児から大人まで

※参加無料、事前申し込み不要



小沢剛
《イワンのバカハウス》2003年 -
Photo: Yamamoto Masato (SOSOUP)



オープン・ワークショップ 参考写真

【同時開催】

- 特別展 この素晴らしき世界：アジアの現代美術から見る世界の今
2012年3月24日(土)～5月13日(日)

【次回開催】

- 特別展 解剖と変容：ブルニー&ゼマーンコヴァー
チェコ、アール・ブリュットの巨匠
2012年5月26日(土)～7月16日(月・祝)

広島市現代美術館(学芸担当：神谷 広報担当：後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1

TEL/ 082-264-1121(代表)・082-264-1146(学芸直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp